

平成29年度 事業計画（案）

《事業展開方針》

国が2020年の訪日外国人旅行者数の目標4000万人を掲げる中、東京オリンピック・パラリンピックの一部競技の県内開催や成田空港の機能の拡充など、千葉県と成田空港を取り巻く環境が更に大きく変化しています。

こうした中、活動最終年に当たる今年度は、これまで以上に、会員の新たなビジネス展開に資する連携・協働の場や情報の提供に取り組むとともに、これまで培ってきた就航先との連携・交流の発展、一層魅力を増す“ナリタ”を発信することなどにより、成田空港の成長と千葉県経済の活性化を図っていく。

○ 会員の新たなビジネス展開に向けた会員間の連携・協働の場や情報の提供の充実

- 会員のニーズに合わせた、県内経済活性化ビジネスセミナーやマーケットリサーチの充実などによるビジネス展開の支援
- 複数の会員が持つ課題の解決に向けた場の提供

○ 実需拡大に向けた“ナリタ”の魅力の更なる発信

- 圏央道の開通などによる交通利便性の向上や千葉県・成田空港の魅力（温暖な気候、豊かな自然・絶景、豊富な国際線ネットワーク、国内線LCC等）の発信
- 会員連携やWEBの活用によるインバウンド観光促進に向けた千葉県の魅力の情報発信
- 県内の“カタファン”拡大に向けた取組や女子旅×成田LCCを活用した情報発信

○ 就航先等との連携・交流を通じた誘客促進

- これまでに培った就航先との連携を生かし、スポーツツーリズムなどをテーマとした、「誘客」「送客」一体となった双方向の地域間交流の進展

○ これまでの活動の総括と今後の展開の検討

- これまで実施した事業の成果を総括し、今後の成田空港を活用した千葉県経済の活性化に向けた取組の方向性について検討を行う
- 会員等が引き継ぐ事業については、当該会員との連携の強化

《事業内容》

(1) 誘客促進事業

ア 国内線就航先との交流促進

- 平成25年度から推進してきた相互交流を踏まえ、北海道との双方向での交流の継続に向けた取り組みを推進する。

[展開イメージ]

- ① パークゴルフ等を活用した、継続的な交流に向けた枠組みづくり
 - ② 経済団体等と連携した相互交流の促進 等
- 「女子旅×成田LCC」では、千葉県とLCCの魅力を継続して情報発信するとともに、就航先の学生等と連携した相互交流を促進する。
 - 就航先の空港利用促進団体や自治体などと、これまでに培った連携を活かし、スポーツツーリズムや食をテーマとした相互交流を推進する。

[展開イメージ]

- ① サッカーやバスケットボール等を活用した双方向交流
 - ② 千葉の食を活用した情報発信 等
- 就航先メディア等を活用した千葉の魅力や成田LCC等の情報発信を行う。

[展開イメージ]

- ・クロスメディアと連動した旅行商品造成による効果測定 等
- 会員が実施する事業と連携して、千葉の魅力発信と受け入れ体制の構築支援などに効果的な事業を展開する。

イ 海外向け誘客促進

成田空港からの訪日外国人の県内誘客を図るため、会員や関連する組織と連携・協力して、情報やノウハウを有する会員のサポートを得ながら、会員と連携したプロモーションや商談会などを展開していく。

[展開イメージ]

- ① 県など会員と連携した、現地でのプロモーション
- ② ランドオペレーターを活用した誘客促進 等

(2) 空港利用促進事業

ア 関東圏でのナリタPR

- 圏央道の茨城・埼玉区間の開通を生かし、空港利用者の取り込みに向けて、会員などと連携・協力して、PR・情報発信を展開していく。

[展開イメージ]

- ・北関東エリアの商業施設等でのイベント開催 等

- 成田空港をより積極的に利用してもらえるよう、成田空港の豊富なネットワークやターミナル、アクセス利便性のPR・情報発信キャンペーンを、県内・首都圏エリアを中心に継続的に展開していく。

[展開イメージ]

- ① 県内の人口が集中するエリアでのPR
- ② 県内金融機関などを活用したPR 等

イ ナリタファンの拡大に向けた取組

主に県内の小学生など若年層に成田空港をより身近な存在として認識してもらい、“ナリタファン”の拡大へつなげるため、空港見学ツアーなどを行う。

[展開イメージ]

- ① 親子を対象とした成田空港見学バスツアーの実施
- ② 会員向け成田空港見学ツアー 等

(3) ビジネス支援事業

ア 会員の新たな事業・ビジネス展開に向けた協働の場づくり

成田空港や圏央道等を活用したビジネスの創出に向け、会員主導による交流・協働の場づくりを行う。

[展開イメージ]

- ① 成田空港からの二次交通の確保に向けた検討
- ② 成田空港や圏央道等を活用した産業振興に向けた検討 等

イ 経済活性化セミナー

成田空港や千葉県を取り巻く現状や 県内経済の最新動向及び今後の見通しなどを会員間で共有するとともに、会員の事業展開に資するセミナー等を開催する。

[展開イメージ]

- ① 圏央道開通の意義・効果と実走体感するセミナーの開催
- ② マーケットリサーチ結果のフィードバック
- ③ 旅行者を対象にした危機管理対応（会員調査を含む）
- ④ 会員のニーズや時流等を踏まえたセミナーの開催 等

ウ マーケットリサーチ

圏央道の開通などで、より一層高まる成田空港や千葉県のポテンシャルを最大限に活かした産業振興や地域活性化などに向け、会員の事業やビジネスの新たな展開に資する各種調査や情報収集を実施する。

[展開イメージ]

- ① 国内線利用動向調査
- ② 成田空港と圏央道を活かした地方創生・経済活性化
- ③ 会員のニーズや時流等を踏まえた調査 等

(4) 要望活動

成田空港の利便性向上のため、関連する団体と連携しながら、国等関係機関に対する要望を実施する。

(5) 会員提案の検討・実施

- 会員からの提案（意見・アイデア等）を協議会事業に反映させるため、情報・ノウハウを有する会員と積極的にコミュニケーションを図り、会員と連携しながら事業を展開する。
- 事業計画の方向に沿った事業提案や幅広い意見・アイデア等について、引き続き募集し、事業化に向けて取り組んで行く。

(6) これまでの活動の総括と今後の展開の検討

- 5年間の活動の内容、成果等を取りまとめ、総括するとともに、会員等に引き継ぎ、継続可能な事業については、当該会員と協議・連携のうえ、円滑な引き継ぎを行う。

(7) その他

- 協議会の活動を広報するため、各種媒体の積極的な利用やプレスリリースを展開するとともに、会員向けにメールニュース等による情報発信を行い、会員間において活動状況や成果の共有を図る。
- 会員企業・団体の広報媒体の活用や、会員が主催するイベントへの協賛・後援等、会員による広報・プロモーションと連携・連動した取組について、会員のニーズをふまえ検討・実施していく。

